

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民健康保険特別会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険法第72条の3等の規定により、一般会計から国保特別会計に繰出金を支出する。 ②給付費が年々増加しているため、一般会計からの赤字繰入れが増加することが予想される。	929,054	1,096,888	6精査・検証	①国民健康保険法で、一般会計から国保特別会計に繰り入れるよう定められている。 ②今後も国民健康保険法の定めに従い事務を進め、また、国民健康保険料の徴収努力を続けていく。	1,163,824
2	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療費負担金に要する経費	保険年金課	○		①後期高齢者医療の運営は広域連合が行い、市は医療費の法定負担割合の12分の1を負担する。 ②被保険者の増加により財源を確保するのが難しくなっている。	616,560	611,030	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、負担している。 ②高齢者の医療の確保に関する法律第98条に基づき、負担金を支出する。(法定負担割合12分の1)	656,004
3	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療事務費負担金に要する経費	保険年金課	○		①後期高齢者医療制度を運営する広域連合の運営費として市町村負担金を納付する。 ②負担金の額は、広域連合規約第18条により決まっており被保険者の増加により財源を確保するのは難しい。	25,348	27,385	6精査・検証	①広域連合規約により、負担している。 ②広域連合規約に基づき、負担金を支出する。(均等割・市の人口割・市の後期高齢者人口割)	32,165
4	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療特別会計繰出金	保険年金課			①低所得者への保険料軽減措置を補填する保険基盤安定負担金の繰出金、電算経費などの事務費繰出金。 ②被保険者の増加により財源を確保するのが難しくなっている。	127,782	148,158	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②迅速かつ的確な事務処理を行う。	150,989
5	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者保健事業に要する経費	保険年金課	○		①実施主体である広域連合との委託契約により、市が実施する健康診査である。 ②受診率を上げることが課題である。	32,935	35,772	6精査・検証	①国の施策として、医療費の抑制を目的として健康診査以外の事業(保健師の巡回指導)が求められる。 ②国の実施基準に基づき、健康診査を個別形式で行い27年度から保健師の巡回指導も実施していく。	58,134
6	一般	3	1	7	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民年金事務に要する経費	保険年金課	○		①法定受託事務という位置づけであるが、業務手法等について検証の上、継続することが必要なため。 ②度重なる法改正に対応し、日本年金機構と連携を取りながら効率的に業務を遂行する。	6,959	8,033	6精査・検証	①法定受託事務という位置づけであるが、業務手法等について検証の上、継続することが必要なため。 ②国民年金に対する住民の不満や不安を軽減するため、迅速かつ正確な対応に努める。国民年金制度の周知を図る。業務委託を継続し、業務を効率的に遂行する。	8,220
7	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	中国残留邦人等の支援に要する経費	社会福祉課			①老齢基礎年金を満額受給しても、なお生活の安定を十分に図ることができない特定中国残留邦人とその配偶者を対象に、原則として生活保護法の例により支援給付を行う。 ②支援給付対象者の高齢化が進み、介護の問題が重要な課題となっている。	16,412	13,738	6精査・検証	①法定受託事務として実施。支援相談員の配置により相互理解がより深まり、円滑な事務遂行がなされている。 ②今後も引き続き、支援給付対象者とその家族、支援相談員、ケースワーカー、関係機関と十分に連携しながら適切な処遇を実施していく。	23,777
8	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	住宅支援給付事業に要する経費	社会福祉課			①勤労意欲があるにも関わらず、住居を喪失している者又は喪失する恐れがある者を対象に6か月間(最大9か月間)を限度に家賃額を支給する。 ②平成22年度を頂点に制度を利用する者が年々減少している。	1,611	1,408	7拡充	①H27年4月1日施行の生活困窮者自立支援事業として、自立相談支援事業の実施及び住居確保給付金の支給を行う必要があるため。 ②自立相談支援員を配置し、相談支援業務の推進を図る。	14,477
9	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	臨時福祉給付金に要する経費	社会福祉課	○		①消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対して、制度的な対応を行うまでの間の、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給するもの。 ②対象者からの申請漏れがないよう、周知を的確に行う必要がある。	0	186,744	6精査・検証	①市が実施主体となるため、より分かりやすい申請手続きに努めるとともに、適切かつ迅速な給付が求められているため。 ②平成27年8月から申請開始を予定しているため、対象者への周知徹底を図る必要がある。	132,513

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
10	一般	3	3	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護事務に要する経費	社会福祉課			①生活保護事務に要する経費(電子レセプト点検委託料、生活保護電算処理システム使用料、非常勤職員賃金、その他消耗品費等)に係る事務を行う。 ②生活保護費の増加に伴い、今後とも事務費の増大が見込まれる。	115,228	94,659	6精査・検証	①法定受託事務であり、事業の継続は不可欠である。 ②平成27年4月より生活困窮者自立支援制度が施行され、生活保護制度と併せた効率的な運用を図っていく。	17,766
11	一般	3	3	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護に要する経費	社会福祉課	○		①生活に困窮する被保護者に対して最低限度の生活を保障しつつ、被保護者の経済的、精神的自立を支援する。 ②昨年に比べ、廃止件数は増加したが、それ以上に申請件数は増えており、受給者の増加に歯止めがかからない状況である。	2,190,425	2,171,416	6精査・検証	①従来、生活保護の受給者数は、景気の動向によって増減すると考えられてきたが、受給者の増加に歯止めがかからず、市としてコントロールすることは困難である。 ②平成27年4月より生活困窮者自立支援制度が施行され、生活保護制度と併せた効果的な運用を図っていく。	2,497,000
12	国保	1	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	資格・給付等に要する経費	保険年金課			①国民健康保険の資格の取得及び喪失を把握し、被保険者証の交付、回収及び更新を行う。 ②高齢化による医療費の増加に伴う給付事務の増加。	46,123	46,167	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき実施する。 ②資格の適正化や、医療費の適正な給付を行う。	48,399
13	国保	1	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	国保連合会等に要する経費	保険年金課			①県、国保連合会からの通知により負担金を支払う。内訳は、事務費負担割、均等割、人数割。 ②各保険者が共同で国保事業の円滑な推進を図っている。	3,642	3,614	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき実施する。 ②各保険者が共有する事務処理を委託して行うことにより、効率化を図る。	3,587
14	国保	1	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国保料(税)の賦課徴収に要する経費	保険年金課			①国民健康保険料の徴収 自宅への個別訪問 口座振替の推奨。 ②国民健康保険事業の財源の安定確保について、収納員徴収のみではなく、口座振替の推奨を更に勧める。	40,243	40,830	6精査・検証	①収納員報酬は生じるが、収納率の向上に一定の効果がある。また、被保険者の生活状況調査などにも活用できるので有効である。 ②口座振替の推奨を更に勧めるため、口座振替の原則化の研究を行う。	46,357
15	国保	1	3	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	運営協議会に要する経費	保険年金課			①国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、国民健康保険事業の適正化を図る。 ②国民健康保険運営協議会は、それぞれの立場からいただいた意見を集約し、国民健康保険事業の運営に反映されるようにしている。	81	117	6精査・検証	①運営協議会は、市町村の必置の機関である。 ②国民健康保険の運営については、法律、条例等により引き続き適正な国民健康保険の運営に努める。	184
16	国保	2	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			①疾病や負傷等により、保険証を提示して医療機関で診察を受けた場合、保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に医療費を支払う。 ②医療の高度化や被保険者の高齢化などにより、療養給付費は年々増加が予想される。	6,487,653	6,832,718	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	7,063,546
17	国保	2	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等療養給付費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が疾病や負傷等により、保険証を提示して医療機関で診察を受けた場合、保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に医療費を支払う。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、療養給付費も減少している。	400,049	290,158	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	246,016
18	国保	2	1	3	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者療養費に要する経費	保険年金課			①被保険者が柔道整復師の施術、あんま・はり・灸などの施術を受けた場合、また、被保険者証が提示できないために療養の給付が受けられなかった場合に、事後において償還払いをする。 ②医療の高度化や被保険者の高齢化などにより、療養費は年々増加が予想される。	120,983	119,859	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	124,289

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
19	国保	2	1	4	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が柔道整復師の施術、あんま・はり・灸などの施術を受けた場合、また、被保険者証が提示ができないために療養の給付が受けられなかった場合に償還払いをする。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、療養費も減少している。	5,958	4,391	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	4,244
20	国保	2	1	5	115安心して暮らせる 社会保障の充実	審査支払手数料に要する経費	保険年金課			①医療機関が請求する医療費の内容について、国保連合会に設置している審査機関が審査し、その審査手数料を各被保険者が支払っている。 ②被保険者の高齢化などにより、受診件数が増加しており、それに伴い審査件数も増加している。	20,136	18,415	6精査・検証	①国民健康保険法第45条の規定に定めるところにより審査手数料の支払いが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	18,915
21	国保	2	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者高額療養費に要する経費	保険年金課			①同じ月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請により自己負担額を超えた分を償還する。 ②医療の高度化などにより、高額療養費は年々増加している。	768,507	844,040	6精査・検証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むことにより、生活が困窮するのを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	871,270
22	国保	2	2	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等高額療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、同じ月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請により自己負担額を超えた分を償還する。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、高額療養費も減少している。	57,751	46,649	6精査・検証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むことにより、生活が困窮するのを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	41,501
23	国保	2	2	3	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①医療保険と介護保険の1年間分の自己負担額の合算額が高額になった時、申請により自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化に伴い、医療保険と介護保険の負担が増大していくことが予測される。	443	244	6精査・検証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むことにより、生活が困窮するのを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	500
24	国保	2	2	4	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、医療保険と介護保険の1年間分の自己負担額の合算額が高額になった時、申請により自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少している。	0	0	6精査・検証	①被保険者の医療費の負担額が、限度額までの支払で済むことにより、生活が困窮するのを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	100
25	国保	2	3	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者移送費に要する経費	保険年金課			①負傷、疾病等により移動が困難な場合、医師の指示により一時的、緊急的な必要があって移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性がある必要があるため、該当となるケースが少ない。	0	0	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	200
26	国保	2	3	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等移送費に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度の該当の被保険者が、負傷、疾病等により移動が困難な場合、医師の指示により一時的、緊急的な必要があって移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性がある必要があるため、該当となるケースが少ない。	0	0	6精査・検証	①被保険者が医療費により、生活が困窮することを抑制している。 ②被保険者が安心して医療を受けられるため、制度の安定運営を図る。	80

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
27	国保	2	4	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	出産育児一時金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険、被保険者が出産した場合(妊娠85日以上の上の死産・流産を含む)に40.4万円を支給する。なお、産科医療制度に加入している病院で出産した場合には、1.6万円を上乗せする。 ②出産率が低下しているため、減少が予想される。	62,308	61,291	6精査・検証	①被保険者の出産に係る費用の軽減が図られている。 ②今後とも、出産育児一時金支払い制度の積極的なPRを図っていく。	71,436
28	国保	2	5	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	葬祭費に要する経費	保険年金課			①国民健康保険、被保険者が死亡した場合に喪主に5万円を支給する。 ②今後は、年間200人前後の支給で推移すると予想される。	11,050	10,250	6精査・検証	①葬祭費を給付することにより、葬祭費用の軽減が図られている。 ②葬祭費の制度を知らない被保険者もいるため、ホームページや対象者への通知により、周知していく。	12,500
29	国保	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者支援金に要する経費	保険年金課			①平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まり、この制度の財政負担は被保険者が1割、公費が5割、残り4割は各医療保険者(被用者保険・国民健康保険)の保険者数に応じて負担することとなった。 ②高齢化が進むことにより、支援金の負担が伸びることが予想される。	1,771,592	1,770,279	6精査・検証	①高齢者医療の確保に関する法律第118条第1項の規定に基づき支援金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	1,733,593
30	国保	3	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者関係事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①保険者から後期高齢者支援金等を徴収し、後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者交付金を交付する業務及びこれに附帯する業務に要する費用に充てるため、年度ごとに保険者から、後期高齢者関係事務費拠出金を徴収する。 ②高齢化が進むことにより、拠出金の負担が伸びることが予想される。	140	123	6精査・検証	①高齢者医療の確保に関する法律第118条第1項の規定に基づき拠出金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	116
31	国保	4	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	前期高齢者納付金に要する経費	保険年金課			①被用者保険と国保等の保険者間で生じている前期高齢者(65～74歳)に係る医療費の不均衡を調整するため、納付金を納める。 ②制度改正により、納付金の負担が伸びることが予想される。	1,722	1,281	6精査・検証	①高齢者医療の確保に関する法律第36条第2項の規定に基づき納付金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	823
32	国保	4	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	前期高齢者関係事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①前期高齢者医療関係事務の円滑な運営に必要な事務費として、社会保険診療報酬支払基金に、加入被保険者数に応じて負担金を支払う。 ②被保険者の減少により、拠出金の負担は減っている。	140	123	6精査・検証	①高齢者医療の確保に関する法律第36条第2項の規定に基づき拠出金を納付することが義務付けられている。 ②高齢者医療の確保に関する法律に基づき事務を進める。	118
33	国保	5	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	老人保健医療費拠出金に要する経費	保険年金課			①老人保健医療事業に要する精算のため、拠出金を納付する。 ②後期高齢者医療制度が創設されたため、老人保健医療費拠出金は、平成20年3月以前の医療費の精算を残すのみとなっている。	352	0	4縮小	①後期高齢者医療制度の創設により、老人保健医療費拠出金は精算金を拠出していく。 ②健康保険法施行令に基づき拠出金を支払う。	1
34	国保	5	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	老人保健事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①老人医療の審査、支払に係る事務費で、各保険者が拠出金を納付する。 ②後期高齢者医療制度が創設されたため、老人保健医療費拠出金は、平成20年3月以前の医療費の精算を残すのみとなっている。	58	54	4縮小	①後期高齢者医療制度の創設により、老人保健医療費拠出金は清算金を拠出していく。 ②健康保険法施行令に基づき拠出金を支払う。	55
35	国保	6	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	介護納付金に要する経費	保険年金課			①介護保険事業に要する費用に充てるため、各保険者が納付金を納付する。 ②高齢化が進み介護保険の需要が伸びることが予想される。	689,367	694,407	6精査・検証	①介護保険法第150条第2項の規定に定めるところにより、負担することが義務付けられている。 ②介護保険法に基づき事務を進める。	700,147

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
36	国保	7	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	高額医療費共同事業医療費拠出金に 要する経費	保険年金課			①高額医療費共同事業は、小規模保険者の運営基盤の安定化を図るため、市町村からの拠出金を財源に都道府県単位で調整している。 ②医療の高度化に伴い、拠出金が増額となることが予想される。	263,702	282,587	6精査・検証	①国民健康保険法第81条の2の規定に定めるところにより拠出金を納付することが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	299,740
37	国保	7	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	保険財政共同安定化事業拠出金に要する 経費	保険年金課			①保険財政共同安定化事業は、財政の安定化を図るため、30万越の医療費について、市町村からの拠出金を財源に都道府県単位で調整している。 ②現在、県及び市町村間で調整方法について見直しを行っており、拠出金が増額となることが予想される。	872,086	898,159	6精査・検証	①国民健康保険法第81条の2の規定に定めるところにより拠出金を納付することが義務付けられている。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	2,589,741
38	国保	7	1	3	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職者医療事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度該当者を抽出するため、拠出金を納付する。 ②年金の支給年齢の引き上げにより、退職者医療制度の該当の被保険者が減少し、拠出金も減少している。	3	2	4縮小	①退職者医療制度は平成27年度から縮小していく。 ②退職者医療制度が円滑に運営されるよう、定めに従い拠出金を支払う。	3
39	国保	8	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	疾病予防に要する経費	保険年金課			①健康福祉フェア等において、生活習慣病等の予防に関する知識の普及・啓発を実施している。 ②保健事業は、疾病予防、健康管理に大きな影響を与える者であり、ますます重要性が高まる。	2,411	2,548	6精査・検証	①保健事業は、医療費抑制の観点から、生活習慣病の対応が法律で義務付けられ、ますます重要性が高まっていく。 ②生活習慣病などの疾病予防、健康管理のための健康教育を行う。また、医療費通知をすることにより、自らの健康状態を管理し、適正受診の認識を周知する。	2,771
40	国保	9	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国民健康保険財政調整基金積立金に 要する経費	保険年金課			①決算等の状況により、高額な医療費の発生等予期せぬ要因に基づく保険財政の変動に対応するため、国民健康保険財政調整基金への積み立てを行っている。 ②一般会計からの赤字繰入を行っており、国民健康保険の財政状況は、非常に苦しい状況にある。	0	175,194	6精査・検証	①決算状況により、確実に積み立てを行い財政基盤の安定に努めた。 ②国民健康保険の財政基盤を安定させるため、収支状況に応じて適切に積み立てを行う。	1
41	国保	10	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者保険料還付金に要する経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。 ②重複納付の防止策を検討し、充当処理も活用して還付件数を減らし、未収納額を抑える。	7,734	9,459	6精査・検証	①国民健康保険法に基づいて実施しているものなので、公金管理上、必要不可欠である。 ②還付理由の大半が重複納付のため、重複納付防止に向けた対策を講じていく。	10,000
42	国保	10	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等保険料還付金に要する 経費	保険年金課			①国民健康保険税の過年度分の重複納付・更正減額等による過誤納付金の還付事務。 ②重複納付の防止策を検討し、充当処理も活用して還付件数を減らし、未収納額を抑える。	927	142	6精査・検証	①国民健康保険法に基づいて実施しているものなので、公金管理上、必要不可欠である。 ②還付理由の大半が重複納付のため、重複納付防止に向けた対策を講じていく。	500
43	国保	10	1	3	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国庫支出金等精算返還金に要する経費	保険年金課			①療養給付費等国庫負担金等に対する返還金。 ②療養給付費は今後も伸び続けるものと予想される。	94,228	118,462	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき精算返還金の義務を負う。 ②国民健康保険法に基づき事務を進める。	1
44	国保	10	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険特別会計の決算に伴い、剰余金のうち、一般会計へ繰り戻しが必要な金額の繰出しを行う。 ②国民健康保険特別会計は、財政的には非常に厳しい状況にあり、効率的な財政運営が求められている。	304,757	200,001	6精査・検証	①決算状況により、国民健康保険の運営や一般会計の状況などを調整し、必要な繰出しを行った。 ②収支状況から適切に繰出しを行い、国民健康保険の運営を円滑に行えるよう努める。	1

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
45	国保	8	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	特定健康診査等に要する経費	健康増進課	○		①年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨値を呈した人への受診勧奨を行う。 ②受診率は目標値に届かず、医療給付費の減少は見られていないことから、未受診者対策を継続し、健診受診者の事後指導を医療につながるよう実施する。	74,720	75,792	6精査・検証	①法律で定められた健診であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②健診受診率向上のため、9月時点での未受診者全数に受診勧奨はがきを送付する。また、重症化予防活動を継続実施する。	89,265
46	後期	1	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者の資格・給付に要する経費	保険年金課			①被保険者証の交付・高額療養費・療養費・葬祭費等の受付事務。 ②被保険者の増加により窓口と電話を的確に対応していくのが課題である。	6,686	6,813	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②被保険者証交付事務において、負担割合の誤り、旧保険証の誤使用がないよう、回収及び破棄のご案内の強化に努める。	5,306
47	後期	1	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費	保険年金課			①後期高齢者医療広域連合の決定した保険料の徴収をする。原則年金天引き、それ以外は口振、納付書によりお支払いいただく。 ②収納率を上げることが課題である。	10,115	11,450	7拡充	①納付相談、電話催告、臨戸訪問徴収、収納員訪問徴収簿により収納率を上げていく必要があるため。 ②滞納状況の把握及び改善に努めるとともに、新規加入者の口座振替依頼を推進する。	13,893
48	後期	1	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	広域連合納付金に要する経費	保険年金課			①市が徴収した保険料を、後期高齢者医療広域連合に保険料等納付金として納付する。 ②迅速かつ的確な事務処理を図るとともに、収納率を上げることが課題である。	818,640	896,389	7拡充	①定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで、より一層の効率化を図る。 ②定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで、保険料徴収における収納率上昇に結びつける。	959,396
49	後期	3	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者医療保険料還付に関する経費	保険年金課			①保険料の更正・減額による還付金の還付未済分の還付。 ②迅速かつ的確な事務処理を行っていくことが課題である。	1,077	1,334	7拡充	①保険料更正後の通知をより早期化する必要があるため。 ②高齢者の医療の確保に関する法律112条により、事務を行っており、迅速かつ的確な事務処理を行う。	2,400
50	後期	3	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①後期高齢者医療事務費額の超過分を一般会計に繰り出す。 ②被保険者の増加による後期高齢者医療保険事業財源の確保。	4,071	8,030	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律により、事務を行っている。 ②迅速かつ的確な事務処理を行う。	1